

平成30年度事業報告

[I] 歴博等の調査研究活動等への援助

歴博への委任経理金 100万円

[II] 歴史民俗関係の図書等の発行・頒布

1. 歴博企画展図録等の発行・頒布

(1) 世界の眼でみる古墳文化 平成30年3月6日～5月6日	作成部数	2000冊
	販売数	1876冊

(2) ニッポンおみやげ博物誌 平成30年7月10日～9月17日	作成部数	1500冊
	販売数	1186冊

(3) 日本の中世文書－機能と形と国際比較－ 平成30年10月16日～12月9日	作成部数	2100冊
	販売数	1903冊

(販売数は、いずれも平成31年3月31日まで)

2. 歴史系総合誌「歴博」の発行・頒布（隔月発行・年6回）

208号～211号、213号	各	1000冊
----------------	---	-------

212号		2000冊
------	--	-------

3. 国立歴史民俗博物館研究報告の発行・頒布

第212集		100冊
-------	--	------

第213集		200冊
-------	--	------

第214集	200冊
第215集	200冊
第216集	250冊

[Ⅲ] ミュージアムショップの事業

1. 商品の仕入・販売
2. 販売するグッズ等の開発及び販売促進等
3. 全国の歴史系博物館図録等の販売

(受託	117館	924	種類)
(委託	20館	110	種類)
(書店	3店)		

[Ⅳ] 友の会事業の実施

1. 「友の会ニュース」の編集・発行・配付(隔月)

(維持会員・普通会员には、歴史系総合誌『歴博』を同封)

2. 館長特別講演会

「近世の道はきれいだったか」

平成31年1月26日(土) 参加者: 280名

講師: 久留島 浩 館長

※講演終了後、館内レストランに於いて館長を囲む懇親会開催

3. 友の会講座

- (1) 古文書講座Aコース 講師: 山本 光正 元教授

前期: 計10回 57名参加 後期: 計10回 55名参加

- (2) 古文書講座Bコース 講師: 山本 光正 元教授

前期: 計10回 57名参加 後期: 計10回 53名参加

(3) 古文書講座入門コース 講師：山本 光正 元教授

前期：計10回 22名参加 後期：計10回 18名参加

(4) 情報資料学講座 (計3回・参加者169名)

第1回 7月13日「年代測定あれこれ」

講師：坂本 稔 教授 (情報資料研究系)

第2回 8月1日「歴史学とコンピューター」

講師：橋本 雄太 テニユアトラック助教 (研究部)

第3回 9月27日「日本の色名と色材」

講師：島津 美子 准教授 (情報資料研究系)

(5) 歴史学講座 (計3回・参加者：404名)

第1回 4月8日「奥羽の政治・文化と戊辰戦争」

講師：天野 真志 特任准教授 (研究部)

第2回 5月9日「聖徳太子の虚像と実像」

講師：仁藤 敦史 教授 (歴史研究系)

第3回 6月21日「『延喜式』記載の地域特産食品から読み解く古代史」

講師：清武 雄二 特任助教 (研究部)

(6) 考古学講座 (計3回・参加者：356名)

第1回 10月5日「最終氷期に生きた人々」

講師：工藤 雄一郎 准教授 (考古研究系)

第2回 11月9日「Bio-Archaeology からみた縄文人の起源」

講師：山田 康弘 教授 (考古研究系)

第3回 12月21日「リニューアル『水田耕作のはじまり』のみどころに
ついて」

講師：藤尾 慎一郎 教授 (考古研究系)

(7) 民俗学講座（計3回・参加者：250名）

第1回 1月9日「産業遺産を残すことの意義と問題点-林業を対象として」

講師：柴崎 茂光 准教授（民俗研究系）

第2回 2月7日「近江商人の関東進出」

講師：青木 隆浩 准教授（民俗研究系）

第3回 3月7日「民俗学からみた老い」

講師：関沢 まゆみ 教授（民俗研究系）

4. 会員による会員のための見学会

(1) 5月12日 船橋(葛飾栗原郷)を歩く

(2) 6月20日 両国界隈の歴史を訪ねる

(3) 7月20日 霞ヶ浦沿岸をめぐる（日帰りバス）

(4) 9月13日 東上総（大多喜・いすみ）中近世バスの旅

(5) 10月26日 草加宿から草加松原を歩く

(6) 1月14日 博物館初詣（加曾利貝塚）

(7) 3月9日 神楽坂界隈

5. 歴史の旅

「南東北 戊辰戦争と震災の記憶」

11月11日～13日 参加者：19名

講師：天野 真志 特任准教授（研究部）

6. 歴博映像祭Ⅱ「民俗研究映像の30年」

8月18日～9月2日

※国立歴史民俗博物館主催・国立歴史民俗博物館友の会協力事業

7. 友の会発足35周年記念講演会「歴博の研究のいまと未来 総合資料学とは」

平成30年11月4日(日) 参加者: 105名

「国立歴史民俗博物館の進める総合資料学とは」

講師: 後藤 真 准教授(研究部)

「人文情報学と史料解読の未来」

講師: 橋本 雄太 テニユアトラック助教(研究部)

「小判の色付一金ぴかに見せる技」

講師: 齋藤 努 教授(情報資料研究系)

「災害と資料保存の現在－歴史・文化の継承を考える－」

講師: 天野 真志 特任准教授(研究部)

8. 自主学習会

(1) 近現代史読書会

月1回 計12回 会員 21名

(2) 近世史読書会

月1回 計12回 会員 18名

(3) 古代の東国探訪学習会

月1回 計12回 会員 30名

(4) 古文書学習会

月1回 計12回 会員 20名

(5) 旅と街道学習会

月1回 計12回 会員 27名

(6) 日本の民俗を訪ねる学習会

月1回 計12回 会員 18名

(7) 総合展示物学習会

月1回 計12回 会員 30名

(8) 日本の先史・古代を考える

月1回 計12回 会員 25名

(9) 日本の中世を探求する

月1回 計12回 会員 18名

9. 観桜茶会 4月8日 (佐倉市茶の湯の会) 107名

10. 新会員向けオリエンテーション 3回実施